

2019年度 看護業務支援委員会 活動報告

	一般目標	評価基準	行動計画	中間評価	最終評価
1	超過勤務削減	前年度超過勤務より5%削減	看護業務支援委員会での評価 師長会議での情報共有 ブリーフィング・デブリーフィングの実施	南5階・手術室の超過勤務が削減されている。南5階ではデブリーフィングが実践されており、師長会議で共有した。南4階は人的配置はされているが、必要度B項目が高く、削減には至っていない	11月の移転以降、超過勤務が上昇、看護部平均で11月は9時間、12月5時間、1月4時間超過。徐々に減っているが、前年比を上回る。特に2C・3A・3B・HCUの増加率が高い。部署ごとと検討と業務シェアが課題。必要度に応じた配置の検討を行う
2	ヘルスプロモーション活動による、職場環境改善	ハラスメントの現状把握と課題を明らかにする	ハラスメントのアンケート調査	前期、情報収集した。移転後、アンケート調査を実施することにした	1月学習会を実施した。2月病院全体でアンケート調査実施。3月評価し新年度の方針を決定する
3	業務の効率化	移動介助チームの安定的運用 多職種による業務分担	体制確保と業務の確立	透析室で看護師と臨床工学技士との業務分担が進んだ。 常勤1名・非常勤2名で開始。水曜日の体制が整っていない。今後の課題	新病院での採血業務を、診療検査課との連携ができた。体制も相乗りが進んでいる 常勤1名、非常勤3名体制で、月から金の体制が確保できた。業務改善につながっている
4	学習環境を整える	薬剤部・臨床工学課・臨床検査課による学習会 Eラーニングの導入	呼吸器学習会と心電図学習会の実施 Eラーニングの利用者が80%を超える	呼吸器学習会、心電図学習会を5月から10月まで実施。 中堅に看護力検定を実施。全国平均以上であったことが分かった。	11月以降。引き続き呼吸器学習会を実施した。12月の参加者は多かったが2月は3名であり、参加率を上げる 看護職員の95.3%がEラーニングが自主的に学習している。